

学校だより 9月号

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

令和元年 8月 29日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

URL

<http://koya-e.konosu.ed.jp>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です



【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



全中でサニブラウン選手に勝ったある選手の物語 ～母との「約束」を叶えるために～



校長 池澤 道弘

夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。昨年は夏休み前から連日猛暑が続きましたが、今年は終業式後の7月末まで梅雨が明けず、涼しい日が続きました。しかし、梅雨が明けると一転して猛暑。暑さに慣れていなかった分、昨年よりも身体に堪えたと感じた方も少なくなかったのではないのでしょうか。今年度は、昨年度より1日長い40日間の夏休みでしたが、123名の小谷っ子が学校ではできない様々な体験をし、元気に登校してきてくれたことを嬉しく思います。2学期はそれぞれの体験を糧にして、一回りも二回りも成長していってくれることを期待しています。

私自身は今年も例年と変わらない日々を過ごしていましたが、家でテレビを見ていて不覚にも涙してしまったエピソードがありました。ご覧になった方もおられるかと思いますが、それは8月11日放送の「消えた天才」(TBS)という番組の中で紹介された、行田市長野中出身の五十幡亮汰さんの物語です。

ご存知のように、今年6月、サニブラウン選手が陸上100mで9秒97の日本新記録を樹立しました。サニブラウン選手は、日本最速の選手として9月の世界陸上でも期待されていますが、そんな彼が中学時代に勝てなかった天才ランナーとして紹介されたのが五十幡亮汰さんです。サニブラウン選手の実力は中学時代から抜き出ており、中学3年生の時には100mで10秒台を記録していました。しかし、五十幡選手はそんなサニブラウン選手を破り、全中陸上選手権の100m、200mで優勝したのです。しかも五十幡選手は、小学校1年生の頃から野球をしており、中学校の頃は硬式野球のリトルシニアに所属する一方、学校の陸上部にも所属しているという二足の草鞋状態での優勝でした。素晴らしい結果を残した五十幡選手でしたが、高校以降は主要大会で名を残すことなく陸上の表舞台から姿を消しています。更に言えば、10校以上オファーがあった陸上の強豪校には進学せず、陸上とは別の道に進んでいるのです。それは、幼いころから続けてきた野球です。それには深い理由がありました。

前述のように五十幡選手は小学校1年生の頃から野球を始めましたが、その彼を誰よりも熱心に応援してくれたのがお母さんで、将来五十幡選手がプロ野球選手になることを夢見ていました。しかし、お母さんは内臓を構成する筋肉の癌に侵され、五十幡選手が小学校3年生の時にこの世を去ってしまいます。五十幡選手は、「プロ野球選手になる」というお母さんとの約束、そしてその約束を叶えるために野球中心の生活を支えてくれたお父さんとお姉さんへ恩返しをするため、全国優勝という栄光を捨て、野球の道に専念したのです。

現在、五十幡選手は中央大学の3年生。もちろん野球部に所属し、自慢の俊足を生かして活躍しています。テレビでは、今後、ドラフト会議で指名される可能性もあるとのことでした。鴻巣市のこんな近くで、家族が強い絆で結ばれた物語があったことに深く感動しました。

2学期は、多くの学校行事が予定されています。五十幡選手のように自分のためだけでなく、支えてくれる方々との絆を大切にして、最後まで努力を続けるとともに、どんな時も感謝の気持ちを忘れずに、大きく大きく成長してほしいと願っています。

